

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、当センターでの診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われます。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、対象となる患者さんから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせがございましたら、下記へご連絡ください。

【研究課題名】

潰瘍性大腸炎におけるチオプリン製剤の長期寛解維持効果

【研究機関・研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科 准教授 松本吏弘

【研究の目的】

潰瘍性大腸炎は免疫の過剰反応による病気であるため、免疫を抑制する薬剤が使用されることがあります。その薬剤の1つである免疫調整剤として、アザチオプリン（イムラン、アザニン）もしくはメルカプトプリン（ロイケリン）は、ステロイド治療や既存治療で十分な効果が得られない潰瘍性大腸炎に対して使用されている治療薬ですが、長期の治療効果および安全性についてのデータは十分ではありません。今回潰瘍性大腸炎に対する上記薬剤の長期治療成績について検討を行います。

【研究の対象となる方】

2000年1月1日から2019年12月31日の間に、当科でアザチオプリン（イムラン、アザニン）もしくはメルカプトプリン（ロイケリン）を導入された潰瘍性大腸炎を有する患者さんです。

【研究の方法及び使用する情報】

患者さんの病状に関する情報、血液検査データについての情報をカルテから収集し、臨床症状の改善の程度、長期間の維持効果、安全性などを検討します。

【研究期間】

この研究の期間は、許可されてから2022年3月31日までです。

【個人情報の取り扱い】

患者さんの情報は、個人の特定ができない形で本研究（学会発表や論文発表を含む）に使用させていただきますと考えています。発表に際して患者さんの個人情報は保護されます。

また、希望される場合には、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究の資料を入手または閲覧することができます。

患者さんまたはご家族の方で、患者さんの情報が本研究に使用されることに同意をされない場合に

は、遠慮なく下記へお申し出ください。研究に不参加であっても、患者さんに不利益が被ることは一切ございませんのでご安心ください。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

Tel048-647-2111

研究担当者：消化器内科 松本吏弘

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 Tel048-648-5225